

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		簡易点検	
事務事業名 青果市場管理運営事業		シート番号		A 一般事務事業	
担当部署名 産業振興 局 農政 部 農水産 課		評価責任者(課長名)		竹平	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	6	元気な農業・農空間のあるまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 25 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市立青果地方卸売市場条例、同条例施行規則			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和18年に現在の土地、昭和25年に市場建物をそれぞれ買収し、堺市青果市場を開設する。当時5社に使用許可を出したのが始まりで、その後合併により2社となる。昭和47年大阪府地方卸売市場条例及び堺市立青果地方卸売市場条例が制定され、堺市立青果地方卸売市場を開設し、2社についても大阪府知事より卸売業務の許可を取得する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	卸売業者を介して買受人⇒小売業者⇒消費者が流通経路となっており、広い意味で市民(消費者)が対象となる。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市場開設者として、市内における生鮮食料品等の流通の円滑化をはかり、市民の食生活の安定に資するための管理運営を行っている。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・卸売市場法、府・市条例に基づき、市場の運営及び施設の維持管理を行っている。 ・卸売業者2社に対しては、使用面積と売上高に応じた施設使用料として年間約1,200万円を徴収している。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

Ⅲ. 投入量

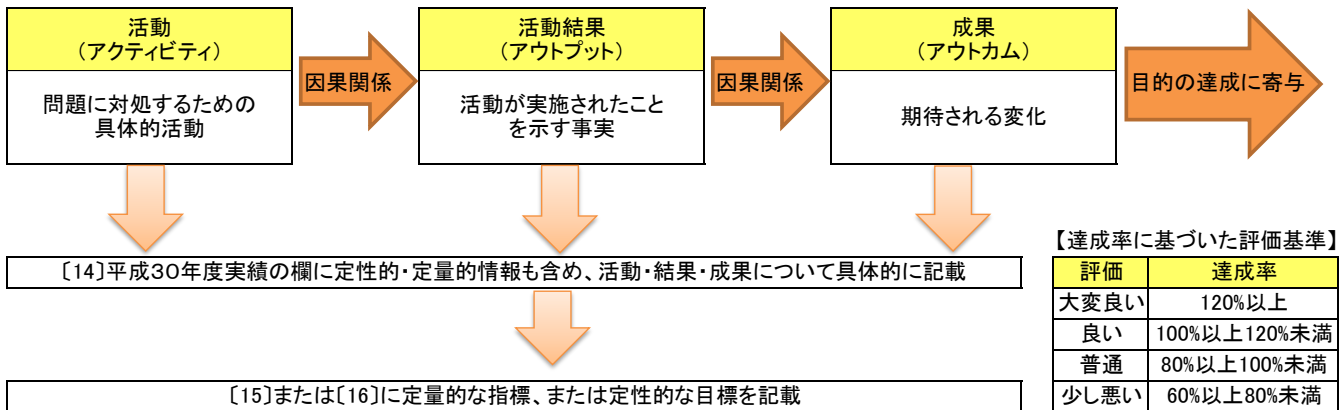
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	365	1,846	3,297	1,366	
	主な事業費内訳	工事請負費	千円	0	0	2,462	0
		修繕料	千円	162	183	695	700
		その他	千円	203	1,663	140	666
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(青果地方卸売市場使用料)	千円	365	1,846	3,297	1,366
		一般財源	千円				
	12 人件費 (b)	千円	2,520	2,520	2,520	2,510	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,885	4,366	5,817	3,876		

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	青果市場管理運営事業	シート番号	15-46
-------	------------	-------	-------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>施設の設置者として、市場としての機能を円滑に果たすことができるよう施設の適切な維持、管理に努めた。 平成30年6月に発生した大阪府北部地震による被害の状況をふまえ、近隣住民等の安全を確保するために既存ブロック塀の撤去、軽量フェンスへの置き換えなどの安全対策を実施した。</p> <p>公設市場の廃止については、移転候補地の検討や情報提供を行った。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		使用料	千円	目標値	12,042	12,042	12,086	12,042
				実績値	12,674	12,564	12,093	
				達成率	105%	104%	100%	
	評価	良い		良い	良い			
	算出方法・設定根拠など		歳入予算額を目標値として設定					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		青果取扱量	トン	目標値	16,000	16,000	15,000	14,100
				実績値	15,753	14,995	14,093	
達成率				98%	94%	94%		
評価				普通	普通	普通		
算出方法・設定根拠など		前年度実績を目標値として設定						

#### 業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>青果取扱量の減少は、流通経路の多様化や自然災害による影響に起因するものと考えられるが、市民の食生活の安定に資する卸売市場としての役割は達成している。 公設廃止については、移転先が確保できておらず、関係者との合意には至っていない。</p>
----	--

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。